振興基本計画　地区提案事業検討シート

平成25年度　　No.

No.	分類	提案地区	提案事業	事業内容	担当課	関連部局
013	道路・交通	片名	集落内道路の整備	・片名川の河川改修（ボックス化の検討）に合わせた道路拡幅	建設課	

Ⅰ 実現性の検討

【判定欄】○:解決可能　×:解決不可能　△:判断できない　を記入してください。

	課題		判定	理由又は対応策	実現性判定
実現可能性	□法規制	道路法、河川法	△	計画河川断面が決定しないと判断できない。	1 実現可能 2 実現の可能性が高い 3 条件次第で実現可能 ○ 4 実現に相当の困難を伴う 5 実現不可能
	□財政	概算工事費10億～20億円（河川として整備する場合）	△	計画河川断面が決定しないと判断できない。	
	□実施主体	南知多町	○		
	□住民合意	現況河川の流下能力次第では河川断面が大きくなる可能性があり、用地の買収、家屋の補償等が発生する可能性がある。	△	計画河川断面が決定しないと判断できない。	
	□その他	片名川の整備計画については、昭和57年に一度計画されているが、河川として整備すると片名の集落部の断面が大幅に広がり、多数の民家の補償、買収が必要となっている。しかし、国営農地開発事業の実施や県道半田南知多公園線の整備など当時とは周辺の状況が変化しているため、もう一度流域を調査し、流量計算、流下能力等を勘案して河川断面の決定を行う必要がある。また、昭和57年の計画では、河川計画として行うよりも、下水道計画として行ったほうが経済的で実情にあっているという結果となっている。	—		
			—		
			—		

Ⅱ 有効性の検討

【判定欄】○:有効性が高い　×:効果がない、又はきわめて低い　△:判断できない　を記入してください。

		項目番号	関連する施策又は生活課題	判定	対策	有効性判定
有効性	□事業効果	総計　131－②	幹線道路の計画的な整備を図ることにより、安全・快適な道路づくりを行うことが出来る。	○	幹線道路が計画的に整備されることにより、住民が安全で安心に道路を通行することが出来る。	○ 1 きわめて効果が高い 2 効果が高い 3 効果が認められる 4 ほとんど効果が認められない 5 効果がない
	□生活効果	生活　8	道路を整備することにより、住民が住みやすい市街地が形成される。	○	道路が整備されることにより、住民が快適で不便を感じずに暮らすことが出来る。	

Ⅲ 総合評価

	評価・判断に係るコメント（緊急性、関連性について、特に考慮すべき点など）	事業区分	総合評価
総合	集落内道路の拡幅、特に集落の密集する地域については、片名川の改修（約７００ｍ）と併せて行うことが必要である。片名川の改修を行うためには、流域を調査し、流量計算、流下能力等を勘案して河川断面の決定を行う必要があるため、現時点では実現の可能性を判断することは難しい。実施計画において、平成28年度に調査を行う計画をしている。調査の結果によっては、他事業で行うことも検討する必要がある。	① 地区重点事業 2 緊急主要事業 3 他事業関連事業	総合A・・・ 有効性・実現性ともに優れている事業（いずれも1又は2） 総合B・・・ 有効性・実現性のいずれかが優れている事業（いずれかが1又は2） 総合C・・・ 実現性・有効性ともに低い事業（上記以外） B